

会議録

会議の名称	男女平等推進センター企画運営委員会 令和7年度第4回
開催日時	令和7年10月8日（水曜日） 午後7時から午後8時25分まで
開催場所	オンライン開催
出席者	委員：浅見委員、寺澤委員、秦委員、大森委員、佐藤委員、内海委員 株式会社 ドゥ・アーバン：富山氏、ヒロタ氏 事務局：河野課長、徳丸係長、渡辺主任、玉根主事
議題	1 情報誌パリテ36号について 2 企画事業について 3 令和7年度第3回企画運営委員会会議録（案）の承認 4 その他
会議資料	1 情報誌パリテ36号特集記事の企画運営委員案 2 令和7年度第3回会議録（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>《開会》</p> <p>事務局：第4回男女平等推進センター企画運営委員会を開催する。 委員会の人数の確認と会の成立について、8名中6名出席で委員会は成立とする。</p> <p>1 情報誌パリテ36号について</p> <p>①特集記事企画テーマと取材先の決定</p> <p>事務局：特集記事の企画テーマを決めたいが、各企画運営委員から提案された内容を説明していただきたい。 ～各委員説明（欠席委員の案は事務局説明）～</p> <p>事務局：提案された内容について何か意見はあるか。</p> <p>委員：「リスクリング・リカレント」は、子供たちに対し大人が率先して見せることも大切だと思うので良い企画だと思う。</p> <p>委員：どの企画も良いが、個人的には「セルフケア」に興味がある。 セルフケアが後回しにならないような啓蒙特集も良いのではないか。</p> <p>委員：「相談体験ストーリー」は、講師等の一方的な情報ではないので、身近な感じで良いと思う。</p> <p>アーバン：どの企画も良いが、パリテを身近な施設だと思ってもらうには、相談関係を紹介できるとパリテを知って貰え、気軽に相談にも来てもらえることに繋がると思う。</p> <p>委員：「姻族終了」も良いと思うが、特集記事は1つなので、大きなテーマでなくても、トピックで掲載しても良いのではないか。</p> <p>アーバン：ページ数が多いので、豆知識として提供したら面白いのではないか。</p> <p>委員：悩み相談のトピックも良いのではないか。 また、子どもたちも読むので世代別に掲載できたら良いのではないか。</p>	

委員：読者層が子どもや、保護者が多いので、「子ども家庭庁」は多くの方が読むのではないかと。

相談関係は、読者層は少ないが、困っている方には、為になる内容だと思う。

事務局：先程ドゥ・アーバンさんが言ったが、昨今相談件数が少なくなっている中で、パリテの認知度の向上のため、相談機関の紹介も良いのではないかと。

なお、姻族終了や子ども家庭庁は、トピックで検討してみても良いのではないかと。

アーバン：多数決で1つに決めるのはどうか。

事務局：多数決で特集記事を決めることで良いかと。

全委員：了解。

～相談関係のテーマに決定～

アーバン：相談関係の特集であれば、相談員にインタビューすることも想定される。

こんな記事が掲載していれば相談しやすくなる等、何か良いアイデアがあれば聞きたい。

事務局：西東京市限定ではなく、著名な相談員に聞くのも良いのではないかと。

委員：事務局としては、対象を女性限定にして、女性相談の件数を増やしたいのか。

子どもも読むので、世代別なのか、或いは対象は問わず相談を増やしていきたいのか。

事務局：パリテが発行するので、メインは女性相談を考えている。

当係のメイン相談はDVだが、DVを視点とした特集記事を久しく掲載していないので、DV啓発も併せて掲載するのも良いのではないかと。

なお、子ども相談は他課が所管しているので、コメント欄で他相談機関を紹介してもよろしいのではないかと。

アーバン：パリテで受けている女性相談の件数やジャンルは公表できるか。

事務局：市で発行している事務報告に掲載しているので問題ない。

委員：「リアルな現場Q&A」ということで、よくある相談を紹介するイメージか。

事務局：よくある相談ということで件数やジャンルを掲載することは可能だと思う。

アーバン：男性相談は実施しているのか。

事務局：西東京市では実施していないが、都内では実施している。

アーバン：コラムで都内の事例を紹介しても良いのではないかと。

また、スペースがあれば「セルフケア」も豆知識で掲載できれば良いと思う。

DV相談に詳しい方に取材することも可能だが、こんな人に話を聞いてみたいとか、要望があれば伺いたい。

委員：相談する掲載内容にDVを取り上げると重いので、パリテで相談するハードルを下げられないと思う。

アーバン：若年困難女性が話題になっているので、若年女性をターゲットにするのも良いのではないかと。

委員：相談内容を委員で一方向的に決めるのではなく、DVを含め、実際の相談内容を対象にしてみてもどうか。

実際の相談内容を認識することで、リアルに読者に伝わり、よりパリテが身近になると思う。

アーバン：以上の意見を反映しながら進めていきたいと思う。

よろしいか。

全委員：了解。

②パリテライブラリーの担当者確認

事務局：パリテライブラリーのコーナーは、男女平等の本を3名の方に紹介していただいているが、担当を決めていただきたい。

アーバン：昨年読んでいない方をお願いしたい。

～3名決定～

事務局：すでに読んだものでも良いし、読みたい本があればパリティで購入するので、連絡してほしい。

アーバン：読む本のタイトルが決まったら事務局に連絡してほしい。

また、11月13日までに感想を事務局に提出してほしい。

委員：漫画でも構わないか。

事務局：構わない。

③パリティニュースのテーマの決定

アーバン：パリティニュースのトピックのテーマを決めてほしい。

委員：「姻族終了」が良い。

アーバン：「セルフケア」を1ページにもってくるのも良いのではないか。

「リスクリング・リカレント」と「子ども家庭庁」は、1ページの記事では網羅できないと思うので、今後の特集記事で採用した方がよろしいのではないか。

委員：どっちも良いが、1つであれば「姻族終了」が良い。

委員：「姻族終了」が良い。

女性相談に相談者のメンタルケアも含まれているなら「セルフケア」も相談の一環として特集記事に含ませる方が良いのではないか。

別記事にするのであれば、特集記事の追記ということでトピックのテーマにしても良いと思う。

アーバン：取材した結果を基に掲載方法は市と調整させていただく。

多数決で1つに決めさせていただく。

全委員：了解。

～「姻族終了」～に決定

アーバン：企画講座の紹介と編集後記100文字程度の原稿を11月13日までに事務局に提出してほしい。

全委員：了解。

事務局：企画講座は、昨年3月に開催した講座から対象になる。

対象となる講座については、後日メールで報告する。

全委員：了解。

事務局：ドゥ・アーバンの再校修正が次回企画運営委員会の1月14日以前から実施する予定になっている。

そのため、委員の意見をメール等で事前に取りまとめ、ドゥ・アーバンに伝えることになる。

仮に企画運営委員会を1週間早め、1月7日に開催できれば、会議でドゥ・アーバンも交え、直接再校原稿の調整ができるが、委員の意見を伺いたい。

アーバン：委員には、年末年始の間で再校原稿を確認していただくことになるが、当社の再校修正が1月13日から入るため、14日の会議では委員の意見を反映するのが念校になってしまう。

会議を7日に変更できれば有難いが、年始早々で難しいようであれば7日にメール等で事務局に意見を送っていただき、当社に指示してほしい。

小中学校の授業終了前の3月中旬に配布したいので逆算すると、このようなスケジュールになってしまう。

申し訳ないが、どちらかの方法で再校をお願いしたい。

事務局：1月7日に変更して大丈夫か。

委員：了解。（一人保留／欠席の場合メールで連絡）

事務局：欠席委員には事務局から連絡するが、次回会議は、1月7日に開催する。
全委員：了解
事務局：他に情報誌パリテ36号について質問等はあるか。
特にないようであれば、議題（1）情報誌パリテ36号については終了する。
アーバン：今日は、ありがとうございました。
～退出～

2 企画事業について

事務局：「不登校でも大丈夫と思える、子どもと歩む親のためのヒント」の報告をお願いします。

委員：ワークショップ形式のブレイクアウトルームで実施したが、参加者も徐々に積極的に声を上げていただけ、チャットにも書き込みがあり、悩みの共有ができ良い場の提供ができた。

解決することはできないかもしれないが、悩みを共有することで気持ち的に整理できる場になったことは、参加者にとって貴重であったと思う。

事務局：25名程参加があり、アンケートも好評であった。

事務局：「わが子らしさが輝きだす、あたたかい育て方の秘訣」は、企画委員が欠席のため事務局から報告する。

こちらは、自分の子どもの、わが子らしさを褒めて伸ばす講座で、参加者の中には、初めての子どものため、悩んでいる方もいたが、育て方や対人関係の方法等を教えていただいた。

事務局：「正しく怖がるインターネット～SNSで絶対に失敗しない方法～」について報告はあるか。

委員：10月18日の土曜日の午前10時から11時30分に予定している。

講師は、小木曾氏で、子どもがスマートフォンを使用する際の取り決めや、トラブルを未然に防ぐ方法を講義していただく予定である。

事務局、現在申し込みは几人か。

事務局：現在7名程である。

委員：委員の皆さんも是非参加してほしい。

事務局：「ノーバディーズパーフェクト講座」について報告はあるか。

委員：2年に1回開催しているが、お母さん同士の繋がりや、子どもとの関係も良好なので、今回も同じように開催できていると思っている。

事務局：「DVを知りなおす～男性被害の存在から見えるもの～」は、11月の女性に対する暴力をなくす運動期間に開催する講演会になる。

前回の企画運営委員において企画委員から男性目線からのDV講座も面白いという意見を伺い、事務局で企画した講演会になる。

11月22日に開催するので是非参加していただきたい。

事務局：「（仮）食品サンプル作り」は、今後打合せをしながら進めていきたい。

3 令和7年度第3回企画運営委員会会議録（案）の承認

事務局：委員長が欠席なので事務局が進行する。

修正箇所はあるか。

委員：開会に記載の会議回数は、第2回ではなく第3回ではないか。

事務局：修正する。

他にあるか。

～修正なし～

事務局：令和7年度第3回企画運営委員会の会議録（案）を承認する。

4 その他

事務局：次回の開催は、令和7年12月10日（水）午後7時から8時30分を予定している。

議題は、「情報誌パリテ36号の初稿について」を予定している。

委員から他に何かあるか。

何もないようであれば、本日の議題は終了する。

《閉会》